



## ワークスでの仕事

ワークスは、たいていの障害者の他の作業所や授産施設の作業内容と異なり、ホームページ作成・名刺作成などの主にパソコン関連の作業を行なっています。

私は、幼い頃よりワープロやパソコンに興味があったせいか、クッキーやパンを製造したり、箱作りなどの内職的な作業を行なっている作業所・授産施設よりも自分自身のパソコンに関する技能・ホームページ等のセンスを高めたり、パソコンにトラックボール等の福祉機器を備え付けたり、またパソコンを自分が使いやすい環境に設定すれば、一般の人のように仕事がこなせる（勿論、時間は人の数倍かかりますが・・・）という所に魅力を感じ、毎日の仕事に励んでおります。

「パソコン」の世界は、全くのバリアフリーの世界で操作を容易にしてくれる補助具や福祉機器さえあれば、どんな重い障害者でも普通の人並みの仕事ができたり、またメールを使えば壁もなく、だからこそ、仕事になれば

逆に「手が不自由だから」と言って、下手な仕事をする事は許されません。

私は、先輩たちと共に「アンジェル・クラブ」(アフガンハウンドのお店)のホームページの修正作業を主に担当させて頂き仕事をしていきますが、日々の仕事をさせて貰う中でホームページの色彩・センスや画像処理の仕方はもとより、本当に多くのことを学んでいます。

これからも「お客様に喜んで頂く仕事ができる」ように、自分なりにパソコンに関する知識や技術を磨いていきたいなあと思っています。



## ●東京ビッグサイト国際福祉機器展を見学して

去る9月10日（火）11日（水）の両日、ワークスから4人の所員（荒木・奥・岩本夫妻）が、3人の介護者とともに東京・台場の東京ビッグサイトでおこなわれた国際福祉機器展を見学に行きました。例年、秋におこなわれている大規模な展示会で、日常生活に役立つ数多くの介護用品や介護機器、福祉車両などが、広大な敷地の中に所狭しと立ち並ぶ会場の雰囲気は、まさに壮観の一言です。最近では生活の様々な分野でのハイテク化が目立ちますが、それは福祉機器の世界でも同じです。介護機器類の進歩に目を奪われる中で、車イス関連、入浴やトイレ等の水まわり用品、電動ベッドや無圧マット等の就寝のための機器、車イスを離れて移動するためのリフトなど、様々な機器類を見ていて感じたのは、いざ利用したいと思っても、価格や設置環境等の面で入手をあきらめざるを得ない場合が多い福祉機器類に対し、視点を変えて暮らしの身近な点から便利にしていくことで、以外にも生活全体が潤うものだというのを感じました。

例えば街に出ると、赤外線センサーで人の存在を感知して開閉する自動扉があるかと思えば、缶ジュースを買おうと自動販売機の前に行くと「いらっしゃいませ！どちらになさいますか？」と声がかかり、さらに買った缶ジュースを手に取り、その場を離れようとする「ありがとうございました！」と声がかかります。まるでこちらが周囲の機械に見張られているかのような錯覚にとられるほどです。他にも今回の見学で注目した物としては、食事用の



の自助具として、熱湯に浸けると熱で柔らかくなり、形状を自由に変えられるスプーンやフォーク類、食べ物を飲み込むのが不自由な方のために「とろみ」をつける調味料や、嚥下を良くするゼリー飲料、食器を置いても滑りにくく加工してあるトレイや高さを変えられる机など、食事に関する介護用品の数々でした。また、この展示会の会場に行くまでに利用した電車交通だけを見ても、電車とホームの間に置く渡り板や階段のリフト、エレベーターなど、福祉機器と呼ばれるものが様々な移動手段に利用されていました。しかし、福祉機器の進歩の一方で、車イスで生活する者の移動手段に、選択肢がまだまだ少なく、数多く乗り継いで来た交通機関にも「展示会に置いてある機械があな駅にあれば良いのに・・・」と何度思ったことかわかりません。しかし展示会で見かけた便利な機器の多くが生活を送ることが不自由な身体障害者や老人、病人、さらにケガや疲労などで一時的に不自由さを強いられている方々の暮らしを、常に支えていることは事実です。今後のさらなる技術の進歩で、福祉機器類の設置が促進されるようになれば、日頃の暮らしもさらに便利になることでしょう。

荒木正幸

## ●国際福祉機器展に参加して

2002年9月10-11日東京ビックサイトへとワークス共同作業所研修旅行、京都駅から新幹線のぞみ号は、所長の大崎さんに見送っていただきながら発車しました。話がたえない中、東京駅に着きました。今福さんにプラットホームまで迎えて来ていただいて（何もかもに助かりました。）山の手線ゆりかもめによって景色を眺めながら大きい会場にアテンダントさんとメンバー含めて10人が、3組になっていくつもある会場へ吸い込まれるように流れていきました。私ら夫婦はアテンダントさんについていただいて、我が家の改造するための、リフトを探しました。パンフレットを見ながら探しました。良いのが有りました。パンフレットや、試供品をいただいて袋一杯にして重みを感じました。

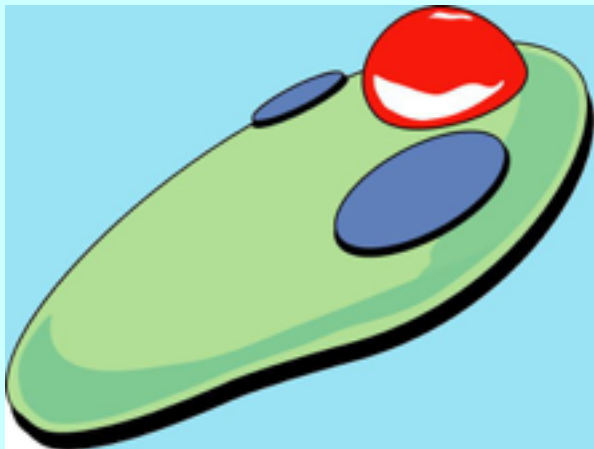


夕食は安くておいしい所へ良く御存じの今福さんと介護の方に案内していただき、美味しく食べられました。海の近くに公園があつて歩道が続いて涼しくて大変良い散歩ができました。目の前の最高級のホテル3部屋を予約して下さつたので助かりました。

車いすの部屋もそれなりに、使用させていただき色々と使えて広くて美しい部屋でした。

翌日も見学で一生懸命走り回りましたが広すぎる会場で全部回ることが出来なかった事に納得しきれなかったけれど、昼食を食べ終わり集合場所にメンバーが集まって帰る支度を急ぎました。じょくそう防止のクッションがその場で買えて送ってもらえました。今、流行しているのをラジオで聞いていた商品です。

こんにゃくの様でなおかつとても重く持ち運びが大変ですが、座り心地は楽です。



岩本 永子

## 京都市障害者福祉総合展に参加しました

9月21日（土）、

22日（日）、毎年恒例、岡崎勧業館、京都市福祉総合展に出展しました。今年は、所員がパソコンで描きためた絵、15種類を絵はがきにして、売りました。

また、その絵をTシャツ用にデザイン、アイロンプリントしたものも同時に、展示、即売しました。足で器用にマウスを動かし、パソコンを使っている、ワークス共同作業所での日常の作業の様子の写真も一緒に展示しました。

たくさんの方が作品の前で足を止めて見て下さり、何人かは絵はがきを買って行って下さいました。

ワークス共同作業所の秋は、バザーが続きます。新しい出会いを期待し、今年もがんばりたいと思います。



藤原久実

### 出来事

8月21日（水）	障害者生活支援センター「やまびこ」	パソコン体験教室（宇治田原町）
8月28日（水）	障害者生活支援センター「やまびこ」	パソコン体験教室（京田辺市）
9月10日～11日	研修旅行（東京国際福祉機器展見学）	
9月19日（木）	市民検診（洛南身体障害者福祉会館）	
9月21日（土）～22日（日）	京都市福祉総合展（出展）	
9月22日（日）	テントウ虫マラソン大会参加（宝ヶ池周辺道路）	
9月25日（水）	WINDOWS XP 導入	
10月9日（水）	障害者生活支援センター「やまびこ」	パソコン体験教室（八幡）
10月16日（水）	障害者生活支援センター「やまびこ」	パソコン体験教室（八幡）

今回は、私坂尻が担当することとなりました。なにしろ未熟者なので皆にサポーターになってもらい、なんとか完成しました。今後ともワークスを宜しく申し上げます。